

世界遺産の清水寺（京都市東山区）の舞台で23日夜、オペラ公演が行われた一写真（京都平安振興財団提供）。清水寺での能や歌舞伎などの公演はこれまでもあるが、オペラの上演は初めて。台風27号の影響であいにくの雨の中での公演となったが、夜の本堂に響く歌声と荘厳な演奏に約250人が酔いしれた。

イタリアを代表する歌劇場の一つであるボローニャ歌劇場による公演。イタリアで活躍する指揮者、吉田裕史さん(45)の指揮により、イタリア国外では初上演となる2作品が上演された。吉田さんとイタリアで知り合ったという調理師の石田大輔さん(40)は「東洋と西洋が融合し、すばらしい」と話していた。

主催者によると、京都市では今後、名所旧跡を舞台に毎年オペラを上演する計画があり、清水寺はその最初の舞台になった。

清水寺 オペラの舞台に



産経新聞 2013. 10. 24